

令和5年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合	学 年	第 1 学年	学 科 類 型	情報ビジネス科
単位数	2 単位	教科書	高等学校新歴史総合（第一学習社）				
副教材	新歴史総合ノート（第一学習社）						

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	--

キャリア教育の視点	歴史上の様々な人物の生き方について、時代背景などを踏まえて考察することにより、自己の生き方や役割、将来設計を考えることにつながります。 また、宗教や民族をめぐる紛争、科学技術の利用の在り方などの諸課題について、歴史的な背景を踏まえて考察することで、課題に対応する力を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1章 近代化と私たち	清を通して東アジア地域の前近代史を学びます。	中間 考 査 期 末 考 査
	5月	第1節 18世紀のアジアの繁栄	産業革命と市民革命を通して、近代市民社会の成立について学びます	
	6月	第2節 工業化の進展と国民国家の建設	ヨーロッパ諸国のアジア進出や、アジアの植民地化と近代化を学びます。	
	7月	第3節 結びつく世界と日本の開国	日本の近代化を通して、ヨーロッパの帝国主義の影響について学びます	
2 学 期	8月	第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	第一次世界大戦を通して、世界の変容や大衆社会の成り立ちについて学びます。	中間 考 査 期 末 考 査
	9月	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	世界恐慌など経済的事象を学ぶことを通して、第二次世界大戦の要因が複合的なものであることを学習します。	
	10月	第1節 第一次世界大戦と大衆社会	日本の戦後の歩みを通して、現代の国際秩序がどのようにして形成されたのかを学びます。	
	11月	第2節 経済危機と第二次世界大戦		
	12月	第3節 第二次世界大戦後の世界と日本		
3 学 期	1月	第3章 グローバル化と私たち	冷戦や第三世界の台頭を学ぶことで、現在の国際関係がどのように構築されたのかを学習します。	学 年 末 考 査
	2月	第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	冷戦の終結や日本の経済成長を学ぶことで、多極化する国際社会の変容について学習します。	
	3月	第2節 世界秩序の変容と日本		

学習の方法	板書を写したり、ノートの空欄に用語を記入したりするだけでなく、歴史の流れや事象の関係を理解しながらまとめることが大切です。年代や用語の確認にとどまらず、教科書の年表や図版を参考にして、学習を深めてください。
-------	--

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	
----	--